

人が行き交う道路・交通ネットワークづくり ～砂原橋架け替え及び周辺道路整備事業～

笛吹川右岸の石和町砂原地区と、笛吹川左岸の八代町益田地区に架かる砂原橋は、笛吹川の兩岸を結ぶ非常に重要な橋であります。老朽化も進み、また橋の幅員が3メートルしかなく一方通行で利用されているのが現状です。

このため、車両のすれ違い可能な橋に架け替えるとともに、その周辺の道路整備も進めながら地域の活性化を図っていくために、国土交通省の指導を受け、詳細な協議を行いながら、この事業に取り組んでいます。



完成した砂原橋（右岸側から）

○現在の進捗状況と今後の計画（平成29年現在）

砂原橋は、平成27年3月に新砂原橋が完成して、平成28年1月に暫定的に仮供用が行われています。

今現在、右岸側（西側）は県道白井河原八田線までの約1,000mと左岸側（東側）は県道藤壘石和線までの約0.330mのうち未整備区間の道路整備を進めているところであります。

なお、総延長2,100m（うち橋の部分270m）の総事業費は約40億円で、国庫補助金と合併特例債を有効に活用しながら、笛吹市道1-13号線に接続する境川町大坪の石橋農工団地の平成32年増設計画に合わせて平成31年度末の完成を目指して整備を進めていきます。

■問合せ先

建設部 土木課 建設担当

TEL：055（261）3333